

02 ワインツーリズムの実践

発表者：山本 莉歌・門前 まい・中村 遥香（生命環境学部 地域社会システム学科3年）、
 田村 勇樹・富田 理沙・森 菜月・佐藤 碧衣・渡邊 彩子・上條 瑞（同学部 食物科学科4年）、
 田中 葉月（同3年）、松尾 隼太郎（環境科学科卒業）、賀茂 いずみ（ワイン科学コースM2年）
 担当教員：奥田徹、久本雅嗣、斉藤史恵、大山勲（生命環境学域／ワイン科学・地域計画学）
 協力講師：大木貴之、鶴田真也、須藤治憲（（社）ワインツーリズム）

学年は2022年4月現在、MIは修士課程

■ 取組みの概要


「ワインツーリズムやまなし」はワイナリーを巡ってワインを楽しむイベントです。本プロジェクトは、このイベントへの参加体験、学生自らの企画と実践を通して「地域の課題の探索とその解決法」について体験し熟考することを目的としたプロジェクトです。
 ツーリズムは地域外からお客さんが来て地域にお金を落としてくれる経済効果によって地域を活性化することのみと捉えられがちですが、この「ワインツーリズムやまなし」の取り組みは、外からのお客さんとのコミュニケーションを通じて**地域の生き方をよりポジティブなものに変える**ことを目指す取り組みで、いわば**ワインとツーリズムの力を借りた「まちづくり（地域づくり）」**です。ワインツーリズムはワイナリー・ぶどう農家・地域住民・飲食店・朝市・NPO・行政など多様な主体が互いに**協力しあって「地域が持っている魅力を引き出し地域の誇りを回復させ、地域のコミュニティの中の信頼関係を構築する「まちづくりの活動」**です。「**地域資源を发掘し活かすとは何か？」「ワインの魅力（テロワール・マリアージュ・・・）とは何か？」**そのワインの魅力を活かして「**地域を活性化する・地域内の経済循環を活性化するとは何か？どうやってそれを実現できるのか？**」・・・を実践活動と人的交流を通じて考え、地域資源を活かすまちづくり（地域づくり）への理解を深めることを目指します。

■ 2021年度の活動

参加者22人（2021年度から新規の参加12人、昨年度からの継続参加4人、OB参加6人、2021年度末で単位要件を満たす者5人）

キックオフ（7/12、8/4）


■ 講義・講演会・事前学習：ワインツーリズムの概要・目的を学ぶ



写真はコロナ禍前 2021年度はオンライン開催

ワインツーリズムやまなしの目的


ワインツーリズムやまなしがグッドデザイン賞を受賞した際の大木さんのスピーチ(6分) ↓



調査・情報発信（8月～10月）各自

■ 参加者への地域魅力の情報提供：ワインツーリズム来訪者に地域魅力を知ってもらうため、ワイナリーを歩いて巡る快適な道・ルート・沿道の資源の調査を行う。調査の成果はSNS情報発信に反映させる。


（グループで現地調査・情報発信）



写真はコロナ禍前

直前打合せ（11/1・11/3・3/30）

■ 役割分担など：スタッフとして当日の作業内容などを打合せオンライン開催



スタッフ名	担当内容	担当
山本 莉歌	企画・広報・調整	山本 莉歌
門前 まい	現地調査・情報発信	門前 まい
中村 遥香	現地調査・情報発信	中村 遥香
田村 勇樹	現地調査・情報発信	田村 勇樹
富田 理沙	現地調査・情報発信	富田 理沙
森 菜月	現地調査・情報発信	森 菜月
佐藤 碧衣	現地調査・情報発信	佐藤 碧衣
渡邊 彩子	現地調査・情報発信	渡邊 彩子
上條 瑞	現地調査・情報発信	上條 瑞
田中 葉月	現地調査・情報発信	田中 葉月
松尾 隼太郎	現地調査・情報発信	松尾 隼太郎
賀茂 いずみ	現地調査・情報発信	賀茂 いずみ

ワインツーリズム実施（11/6・7・13・14・20・27、28 4/2）

■ 参加者を観察・もてなしの実践：お客さんやワイナリーの行動状況を観察。お客さんへの解説などもてなしを実践。SNSへの発信。



■ スタッフとして実践：住民・有志のボランティアの方々と協力して主体的に活動



交流とふりかえり（5月予定）

■ 反省会：主催者・ワイナリー醸造家・農家・ボランティアの方たちとの反省会。課題とこれからの夢を考える



写真はコロナ禍前



ワインツーリズムの様子(朝日新聞ニュース) ↑

■ 2022年度の活動

現時点では、①個人・小グループによる「ワイナリーおよびワイナリー間の散策路調査（道の景観だけでなく、店舗なども含む）とその魅力の情報発信」、②11月開催の秋のワインツーリズムやまなしへの参加、③来年春4月開催の春のワインツーリズムへの参加 で進めていく予定です。COVID-19の感染拡大の状況によっては、ワインツーリズムは開催されない、または開催されても小規模で行われるため学生が参加できない、という可能性もあります。